

富山ろうさい病院の各病棟機能と地域包括医療病棟新設のお知らせ

これまでの病棟構成と機能

HCU(ハイケアユニット)

重症ICUと急性期の架け橋



高度治療室や準集中治療室とも呼ばれ、重症患者のためのICU(集中治療室)と急性期一般病棟の中間にある病棟です。様態がやや安定した患者や大きな手術の経過観察などを集中的に行います。

急性期一般病棟

緊急・集中的な治療と症状観察



病気やけがの治療などのため、緊急で集中的な治療を必要とする患者さんを受け入れる病棟です。24時間体制での症状観察や迅速な治療を行います。

地域包括ケア病棟

自宅・施設への安心な退院を支援



急性期治療を終えた患者さんが安心して自宅や施設へ退院できるよう、医療・リハビリ・退院支援を提供する病棟です。多職種チームが在宅に向けた準備とサポートを行います。

令和8年6月1日より新設

地域包括医療病棟

高齢者救急と早期復帰の両立



当院では、これまでのHCU・急性期一般病棟・地域包括ケア病棟に加え、「地域包括医療病棟」を新設し、病床の再編を行いました。

高齢者などの軽度・中等度の救急搬送や入院を積極的に受け入れるための病棟です。急性期医療の提供と早期に機能回復支援を両立させ、多職種連携によってスムーズな在宅復帰(または施設復帰)を目指します。

高齢化の進展により、治療後の生活を支える支援の必要性が増加し、早期に自宅や施設へ戻るための支援強化が必要になり、また、軽症～中等症の救急患者の受け入れニーズの増加など、医療だけでなく「回復支援」まで含めた対応が求められるようになりました。

地域の皆さまへメッセージ

「無理なく日常生活へ戻れるよう多職種で支援します」入院早期から医師・看護師・リハビリスタッフ等の多職種が連携し、患者さんが安心して地域に戻れる体制を構築しています。

地域全体での連携と協力をお願い

ケアマネジャー、施設関係者、そしてご家族の皆さまと手を取り合い、一丸となって地域医療を支えていきたいと考えています。

